



刀剣鍛錬奉納行事（熱田神宮拝殿前にて）

日本刀とその製作技術は千年以上の永き歴史を有し、今日まで継承され、その技術の高さは世界にも例を見ないものです。平成9年より毎年7月に熱田神宮拝殿前にて行われている刀剣鍛錬奉納行事では、この高い伝統技術が公開され、鍛打ちに参加する機会もあり、展示だけでは十分に伝えられない事柄を五感を通して存分に体験させてくれます。

熱田神宮宝物館は、日本の文化力を見直し、その新たな展開を期する「場」を提供することも博物館活動の重要な使命であると考え、積極的にこの行事を後援し、また連動した企画展示を心掛けてまいりました。

刀剣鍛錬奉納は毎年新たな感動を生みながら熱田神宮の夏の行事として定着しつつあります。なお、8月には研磨とその他刀剣関係技術の奉納も行われています。

熱田神宮宝物館

目 次

●愛知県博物館協会平成16年度総会の報告について	2
●平成16年度東海地区博物館連絡協議会 日本博物館協会東海支部総会の報告について	4
●新規加盟館の紹介	6

愛知県博物館協会

平成16年度総会の報告

愛知県博物館協会の平成16年度総会が6月25日(金)、名古屋市千種区の「ルブラ王山」で、参加62館83名の出席のもと盛大に開催されました。概要は以下の通りです。

1. 開 会

2. 会長あいさつ

名古屋市科学館 館長 樋口 敬二氏

3. 協会表彰

鈴木 忠道 氏 (功労賞該当)

トヨタ博物館

4. 新加盟館紹介あいさつ

・西枇杷島町問屋記念館

5. 議 事

議長 樋口 敬二氏(会長)

①平成15年度事業報告及び決算報告について

1 研修会の実施

(1) 愛知県博物館等職員研修会

期 日 平成15年10月30・31日

会 場 博物館明治村

テーマ 「博物館と博覧会」

参加者 81名

(2) 部門別研修会

ア 自然科学部門

期 日 平成15年9月10日

会 場 豊橋市自然史博物館

テーマ 「使える植物標本入門講座」

参加者 16名

イ 歴史民俗部門

期 日 平成16年2月18日

会 場 一宮博物館ほか

テーマ 「印刷技術の歴史とこれから
～博物館におけるこれからの図録作り～」

参加者 39名

ウ 美術部門

期 日 平成16年2月27日

会 場 トヨタ博物館

テーマ 「美術工芸品の梱包及び展示方について
(実技中心)」

参加者 22名

2 東海地区博物館連絡協議会

平成15年度総会への参加

期 日 平成15年7月16日

会 場 愛知芸術文化センター

参加者 74名

3 第28回東海三県博物館協会

交流研修会への参加

期 日 平成15年11月12・13日

会 場 大垣市スイトピアセンター

テーマ 「元気のでる博物館活動」

参加者 14名

4 印刷物の作成・配布

(1) 協会報「愛知の博物館」 2回発行

(2) 「おでかけガイド」 2回発行

5 会議等

(1) 総 会 1回開催

(2) 理 事 会 1回開催

(3) 実行委員会 8回開催

6 平成15年度加盟等

入 会 4館

7 平成15年度決算報告

資料に基づき事務局より説明、異議なく承認されました。

②平成16年度事業計画(案)及び

予算(案)について

1 事 業

(1) 愛知県博物館等職員研修会

愛知県教育委員会と共催で博物館関係施設等に勤務する職員を対象とする。

期 日 平成16年11月4・5日

会 場 ウェルサンピア岡崎

テーマ 資料保存と環境整備

(2005年臭化メチル全廃にむけて)

(2) 部門別研修会

ア 自然科学部門 平成17年2～3月予定

企画担当 鳳来寺山自然科学博物館

名古屋市科学館

イ 歴史民俗部門 平成17年2～3月予定

企画担当 佐織町中央公民館

歴史民族資料館

愛知県博物館協会役員名簿

(平成16年度)

ウ 美術部門 平成17年2~3月予定
企画担当 豊橋市美術博物館

(3) 東海地区博物館連絡協議会

平成16年度総会への参加

期 日 平成16年7月16日

会 場 山梨県立美術館

(4) 第29回東海三県博物館協会

交流研修会(当番三重県)

期 日 平成16年10月8・9日

会 場 三重県立美術館

(5) 表彰 協会加盟館(園)に永年
勤続した者等の表彰を行う

(6) 印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」2回発行

編集担当 熱田神宮宝物館

でんきの科学館

・「おでかけガイド」2回発行

編集担当 豊橋市郷土資料館

尾西市三岸節子記念美術館

・愛知県博物館協会40周年記念事業

記念誌発行

編集担当 愛知県陶磁資料館ほか

(7) 「愛博協ホームページ」

企画担当 名古屋市科学館

2 会 議 名古屋市科学館

(1) 総 会 (平成16年6月25日)

(2) 理 事 会 (平成16年6月25日)

(3) 実行委員会 (随 時)

3 平成16年度加盟等

新加盟 西枇杷島町問屋記念館

以上1館

退 会 津具村立文化資料展示センター

以上1館

4 平成16年度予算(案)

事業計画案に基づく予算案を事務局
より提示、承認された。

※総会終了後恒例の講演会を実施、今年度は
名古屋市科学館

館長 樋口敬二氏による「科学と芸術の原点」
というテーマでご講演をいただきました。

☞役員、実行委員、事務局の一部が次のとおり交
替致しました。今後共、会員各位のご協力の程、
よろしくお願い致します。

役職名	館(園)名	代表者名	備考
理事	名古屋市科学館	館長 樋口敬二	会長
〃	トヨタ博物館	館長 西崎元治	副会長
〃	愛知県美術館	館長 市川政憲	
〃	熱田神宮宝物館	館長 渡邊 肇	H16.4.1交替
〃	尾西市三岸節子記念美術館	館長 宮田和義	H16.4.1交替
〃	東海市立平州記念館・郷土資料館	館長 立松 彰	H16.4.1交替
〃	岡崎市美術博物館	館長 芳賀 徹	
〃	佐織町中央公民館・歴史民俗資料室	館長 川口 均	H16.4.1交替
〃	昭和美術館	館長 柳澤幸輝	
〃	豊田市郷土資料館	館長 畔柳寿文	
〃	でんきの科学館	館長 宮地清美	
〃	豊橋市美術博物館	館長 藤井 隆	H16.4.1交替
〃	名古屋市博物館	館長 竹内 正	
〃	博物館明治村	館長 飯田喜四郎	
〃	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山良哲	
監事	徳川美術館	館長 徳川義宣	
〃	愛知県陶磁資料館	館長 川上 實	

愛知県博物館協会実行委員名簿

(平成16年度)

館(園)名	委員氏名	備考
名古屋市科学館	松河 功	(会長館)
トヨタ博物館	宗沢清美	(副会長館)
愛知県美術館	深山孝彰	(理事館)
熱田神宮宝物館	佐竹俊郎	(〃)
尾西市三岸節子記念美術館	伊藤和彦	(〃)H16.4.1交替
東海市立平州記念館・郷土資料館	永井伸明	(〃)H16.4.1交替
岡崎市美術博物館	浦野加穂子	(〃)
佐織町中央公民館・歴史民俗資料室	石田泰弘	(〃)H16.4.1交替
昭和美術館	普天間公美	(〃)
豊田市郷土資料館	伊藤智子	(〃)
でんきの科学館	喜田幸男	(〃)
豊橋市美術博物館	岡田亘世	(〃)H16.4.1交替
名古屋市博物館	美和文代	(〃)
博物館明治村	中野裕子	(〃)
鳳来寺山自然科学博物館	加藤貞亨	(〃)
徳川美術館	並木昌史	(監事館)
愛知県陶磁資料館	佐藤一信	(〃)

愛知県博物館協会事務局

事務局長	佐伯平二	名古屋市科学館 学芸課長
事務局	加藤憲宏	名古屋市科学館 総務課庶務係長
〃	牧野 仁	名古屋市科学館 総務課
〃	伊藤つや	名古屋市科学館 総務課

平成16年度 東海地区博物館連絡協議会及び 日本博物館協会東海支部総会について

名古屋市科学館 学芸課学芸第一係長 松河 功

平成16年度 東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会が7月16日（金）山梨県甲府市にある山梨県立美術館で38館55名の参加により開催されました。

本年度は山梨県が開催県で、山梨県立美術館の館長でもあり、この東海地区博物館連絡協議会の会長でもある島田紀夫氏の挨拶で総会が始まりました。以下、その内容について報告いたします。

日本博物館協会専務理事五十嵐耕一氏、山梨県教育長眞田良一氏の来賓祝辞のあと日本モンキーセンターの水野礼子氏、岐阜市歴史博物館の白水正氏が表彰を受けられました。その後以下の議題について審議しました。

1. 平成16年度東海地区博物館協議会理事及び監事の選任について
2. 平成15年度事業報告及び決算報告について
3. 平成16年度事業計画案及び予算案について
4. 平成17年度開催県について
5. その他
 - (1) 日本博物館協会の主要事業と最近の動向
 - (2) 報告事項（静岡県博物館協会）
 - (3) 愛・地球博の宣伝（愛知県陶磁資料館）

審議は上記（1、2、3）について事務局案が了承され、4の次期開催県は輪番で神奈川県となりました。また、5のその他については、（1）日本博物館協会の五十嵐専務理事から日本博物館協会の主要事業と最近の動向についてと題し、指定管理者制度や地域子ども教室推進事業などの説明がありました。（2）の報告事項については静岡県博物館協会から前年度提案した「観覧者の増加対策」「学校及び地域との連携」「財政基盤の充実」について調査結果の報告がありました。（3）愛・地球博の宣伝については愛知県陶磁資料館から「ぜひ、万博へ、そして愛知県の博物館等へ来場を」と呼びかけていただきました。

6. 講演会

「ミレー作品の修復について」の演題で東京芸術大学助教授木島隆康氏が講演されました。木島氏と山梨県立美術館が昨年12月から4ヶ月かけてミレーの「種をまく人」を中心に4作品を修復した状況を科学調査洗浄作業等について詳しく説明されました。



木島隆康氏による講演会

講演会後は山梨県立美術館と山梨県立文学館の観覧のあとレストラン「アート・アーカイブス」にて懇親会を行い、無事本年度の総会等を終了しました。

愛知県博物館協会創立40周年記念誌

本年、愛知県博物館協会は創立40周年を迎え、記念事業として記念誌の発行を予定しております。実行委員会を中心に編集作業にとりかかっておりますが、貴職に原稿並取材等依頼がありましたら、何卒御協力の程、御願ひ申し上げます。尚、発行は本年度末の予定です。

実行委員

愛知県博物館協会等職員研修会のご案内

平成16年11月4日(木)～5日(金)の両日、愛知県教育委員会・愛知県博物館協会の主催で、「平成16年度愛知県博物館協会等職員研修会」を開催いたします。

たくさんの方々のご参加をお願いします。

概 要

- | | |
|--------|--|
| 1. 主 催 | 愛知県教育委員会
愛知県博物館協会 |
| 2. 期 日 | 平成16年11月4日(木)～5日(金) |
| 3. 会 場 | ウェルサンピア岡崎
〒444-0933 岡崎市渡町大柵1-1
☎0564-32-7211 |

新規加盟館の紹介

西枇杷島町問屋記念館

〒452-0045 西春日井郡西枇杷島町西六軒町20番地
TEL.052-502-7575 FAX.052-502-7599



東海道と中山道の脇街道として発展した美濃路沿いの下小田井村（現西枇杷島町）に、江戸時代の初頭、徳川家康の命を受けて青物市場が開設されました。やがてこの「下小田井の市」は、江戸の神田、大坂の天満とともに日本三大青物市の一つとして挙げられるほど繁栄するようになりました。

この「下小田井の市」の創始者の一人といわれる山田九左衛門家の住居を、平成4年（1992）に、移築復元したものです。山田九左衛門家は、野口家とともに「下小田井の市」を支えた中心的な存在でした。明治の初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物です。また、館内は山田九左衛門家から寄贈を受けた民具資料を問屋であった当時のくらしと商いの様子を再現した形で展示を行っています。この他に問屋に関連する資料を展示しています。また、この建物は平成5年に町指定文化財に指定されています。

▶ご利用案内◀

〈主な展示品〉 帳場机、帳簿、前掛け他問屋に関する資料、枇杷島市場規定木札（町指定文化財）、問屋制札（町指定文化財）、枇杷島市場再現ジオラマ

〈開館時間〉 午前10時～午後4時（入場は3時まで）

〈休館日〉 毎週月曜日、祝日の翌日、
12月28日～1月4日（月曜日、祝日の翌日が休日の場合は近日の開館日）

〈入場料金〉 無料



青果問屋



枇杷島市場ジオラマ模型

■アクセス



名鉄本線「西枇杷島駅」

又は「二ツ杵駅」下車徒歩7分

JR東海道本線「枇杷島駅」下車徒歩10分

「愛知の博物館」No.80

発行日 平成16年8月31日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒460-0008

名古屋市中区栄二丁目17-1

名古屋市科学館内

TEL <052> 201-4486

FAX <052> 203-0788